

病院で診察を受ける時のおすすめ服装

これで大体どの科も大丈夫！



お化粧はせず、洗顔すっぴんで行きましょう。
ピアスやヘアピンなどもしない方が診察時に楽です。
髪の長い人は、ヘアゴムを持っていると色々便利。

ゆったり目のTシャツが圧倒的に便利。
血圧、採血、聴診等の邪魔にならず、可動も楽。

下着は全部布生地でできたスポーツブラなどがおすすめ。
レントゲンからCT撮影までなんでもそのままどんとこい！

やわらかくノビの良い生地のジャージパンツが便利。
裾幅が広めだと、足上にまくる場合に良い。

診察や検査で意外と脱ぎ着が多いものです。
診察しやすい服装で行けば、診察時間も短縮でき、
もたもたして恥ずかしい思いもしません。

靴下はスニーカー用の短いクルーソックスなどが楽です。
ストッキングやタイツは脱ぎ着が面倒です。

靴は脱ぎ履きしやすいスリッポン型が便利。



産婦人科では、
膝丈くらいのフレアスカートがおすすめ！

健診・診察で注意したい服装

CAUTION!



補正下着・ボディスーツはNG!
大抵の診察や健診で脱がざるを得ません。着直すのも大変です。

ブラジャー、ヘアピン、ピアスなど、金属パーツのある物はレントゲン撮影等により外すことが多いです。スポーツブラが楽!
ショーツに金属チャームなどがあるものは、脱ぐ羽目になってしまうかも知れません。

ネイル・マニキュアはきれいに落としてから行きましょう。
爪色観察だけでなく、指で数値を測る機材の妨げになります。

ストッキングや脱ぎにくいブーツも避けましょう。足のむくみや色を判断する内科診療や健診もあります。すぐ脱げる靴やソックスがおすすめ。

CAUTION!



タートルネックは避けたほうが無難です。多くの科で襟ぐりの広いもの、開くものが診察しやすいです。

ぴったりしていて腕まくりのしづらいトップスは、採血検査等が必要になった際に不便です。

ワンピースは避けましょう。聴診や超音波検査の際はどうしてもめくらないといけないので、下着丸見えに...

検診車等狭い場所でロングスカートが邪魔になることもあるようなので、注意が必要かも知れません。

CAUTION!

